

本別町地域公共交通活性化協議会 平成22年3月23日設置



概要

本別町は、人口約9千人の過疎地域であり、高齢者の通院等の住民生活に不可欠な公共交通は、旧ふるさと銀河線から転換された民間路線バス及び町営バス等により維持しているが、少子高齢化・人口減に伴う利用者の減少や生活行動パターンに沿った利便性の確保等が課題となっている。このため、町営バスの路線等再編、民間路線バスと町営バス相互の連携など、町民等の交通行動やニーズ等を踏まえた有効かつ効率的な公共交通手段の確保等の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・十勝バス(株)(地域間2路線)
- ・町営バス(太陽の丘循環バス3路線、へき地患者輸送バス5路線、町有バス6路線、生活維持路線(地域間1路線))
- ・スクールバス(8路線)

地域公共交通の課題

- ・路線バスの利用が低迷
- ・路線バスの相互の連携
- ・高齢者の通院・買物等の移動手段の利便性向上
- ・町民ニーズ等を踏まえた有効かつ効率的な交通手段の確保

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・コミュニティバスやデマンド型交通の試験運行

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・町営バスの路線等再編
- ・民間路線バス・町営バス相互の連携
- ・民間バスの運行再編

